

日 時	令和8年2月26日(木) 13:50~14:35
会 場	市役所4階 会議室4C・4D
出席委員	安藤淳一委員、舟田敬委員、高杉真委員、南文人委員、泉澤誉一委員、関川修司委員、小池隆史委員、浦野郁美委員、伊藤宰治委員、羽田好志委員
欠席委員	なし
傍聴者	0名
市出席者	【建設部建設総務課】 中垣部長、笠井課長、池端主査、阿部主事

・ 議事内容

1 開会

建設部長挨拶

配布資料確認

会長挨拶

2 報告事項

① 「北広島市空家等対策計画(案)について」

[意見及び回答]

●A委員：意見として、昭和56年5月31日以前の空き家は、賃貸として運用するのが良いのではないのでしょうか。また、賃貸での運用を促進するため、空き家を持っている方々に助成金を出していただきたいです。

●B委員：50年ほど前から今まで、用途地域がほとんど引き継がれている状態です。これは今の若者が建物を建築する上でかなり抑制がかかってしまいます。用途地域の見直しを行うという文言を追加して頂きたいです。

事務局：

本計画については、用途地域の見直しに関することを定める計画ではないため、計画内に記述することは難しいです。市への意見としていただき、都市計画の担当部署に引き継がせていただきます。

●A委員：現状、建築費の高騰により新築物件が建てられなくなってきており、戸建て建売建設業の倒産件数も、昨年度は過去最大となっております。

また、今回大雪が降った際、敷地が広いことで札幌市と比べて除雪状態が非常に良好でありました。

●C 委員：建ぺい率及び容積率の緩和がされましたが、外壁後退距離については1.5m のままであるため、排雪等の問題に対して現状維持できるというのは他市との違いだと思います。

② 「令和7年度住まい創生サポート事業に関する実績について」

[意見及び回答]

●C 委員：空き地・空き家バンクの登録件数及び契約件数については、登録された物件の中で契約があったという形でリンクしているということでしょうか。

事務局：

はい。登録や契約がいつされたかで年度分けしている表となっております。

●B 委員：住まいの相談カウンターはどういった方で構成されているのかについて聞きたいです。

事務局：

基本的には建設総務課の住宅施策担当で対応していますが、分野によってはそこだけでは対応できないこともありますので、担当課との庁内連携等を行っているところです。

●C 委員：今回紹介された中だけでもいろいろな窓口やイベントがあるので、どこに行けばよいのかという方に住まいの相談カウンターを利用して頂けたらよいのではないかと思います。

事務局：

そうですね。「住まい」ということであればまずは一度住まいの相談カウンターに来ていただいて、担当内で解決できることであれば課内での解決、そうでなければ各課や不動産協会の方にお繋ぎするので、まずは建設総務課が対応する流れとなっております。

●C 委員：まずは住まいの相談カウンターに行っていたりするようなPRができるとうり良いのではと思います。

●B 委員：住まいの相談カウンターはウェブ上でも公開されておりますが、スマホの操作に不慣れな高齢者の方は住まいの相談カウンターにたどり着くのに苦労されます。露出度を上げることができれば敷居が低くなると思いますので、そういった施策を検討いただければと思います。

●C委員：デジタルプラットフォームについては、これから構築していくということですか？

事務局：

令和6年度に構築したものを、今年度から運用しているということです。

●D委員：構築したものはHP上で見られるような形にしているのでしょうか。

事務局：

データベースについては実際の空き家に関する情報なのでHP等に掲載しておりませんが、きたひろナビについては売却に出されている空き地・空き家バンク登録物件で、不動産協会に加盟している業者が媒介契約を結んだ物件を掲載させていただいております。

3 その他

北広島市空家等対策計画の策定スケジュールについて

[意見及び回答]

●B委員：話が戻りますが、住まい創生サポート事業に関する実績等についての資料で、デジタル田園都市国家構想交付金利用1/2補助について教えてほしいです。

事務局：

この交付金自体は幅広いものですが、業務をデジタル化することによって補助される国の交付金で、今回の空家流通促進デジタルプラットフォームの構築に関しては構築費用の2分の1補助を受けています。

4 閉会

議事録署名 _____
